

## 令和6年度第1回寝屋川市社会福祉審議会 会議要旨

会 議 の 名 称	令和6年度第1回寝屋川市社会福祉審議会
開 催 日 時	令和7年1月28日（火） 午後2時00分から午後2時35分まで
開 催 場 所	議会棟4階 第Ⅰ・Ⅱ会議室
出 席 委 員	青山委員、塩見委員、中川健委員、高見委員、 中川芳委員、荻野委員、山下委員、久保田委員
欠 席 委 員	乾委員、岩淵委員、岡委員
案 件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会議の公開・非公開について</li> <li>2 第5次寝屋川市地域福祉計画の策定状況について</li> <li>3 「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」に係る事業評価について</li> <li>4 各専門分科会の実施状況の報告について</li> <li>5 その他</li> </ol>
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
傍 聴 者 の 数	1人
所 管 部 署 ( 事 務 局 )	福祉部 福祉総務課

	(寝屋川市社会福祉審議会規則第5条第1項の規定に基づき、青山委員長を議長とし、議事進行)
委員長	次第1 会議の公開・非公開の決定について
事務局	(説明)
委員	公開で異議なし
委員長	次第2 第5次寝屋川市地域福祉計画の策定状況について
事務局	(資料に基づき、福祉総務課から説明)
委員	意見等なし
委員長	次第3 「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」に係る事業評価について
事務局	(資料に基づき、保護課から説明)
委員	当日資料の差し替えがあったが、事前に配布された資料とどこが変わったのか。
事務局	事前配布資料には、重層的支援体制整備事業の必須事業などを詳細に記載していたが、当日資料ではそれを簡潔に整理した。
委員	本事業は新たな組織を作るのではなく、補助金要件に適合する形で既存の支援を継続する理解でよいか。
事務局	お見込のとおり

委員	この審議会では、新たな取り組みに対する評価を行うが、委員として事前に取り組むべきことはあるか
事務局	事業評価については、今後、社会福祉協議会と寝屋川市が協議し決定していく。
委員	地域では校区福祉委員長の負担が大きく、生活困窮者の実態把握が難しい。校区福祉委員も毎年交代するため、小地域ネットワーク活動が十分に浸透していない。予算を確保するだけでは現場の安堵感にはつながらないため、補助金支給だけではなく、具体的な支援策を考えてほしい。
事務局	地域の課題は多岐にわたり、生活困窮者支援の体制整備が必要と考えている。来年度実施する重層的支援体制整備事業で、地域の相談を適切に支援につなげる仕組みを作りたい。
委員	医療機関との定期的な会合で生活困窮者の受け入れについて議論になることがあり、次のような声があったため共有させていただく。市に相談した際に福祉窓口をたらい回しにされることがある。小地域ネットワーク活動として地域の相談窓口があり、そこから横に連携されると利便性の向上になるのではないか。
委員長	次第4 専門分科会の審議内容等について
事務局	(資料に基づき、分科会所管課から説明)
委員	意見等なし
	閉会